

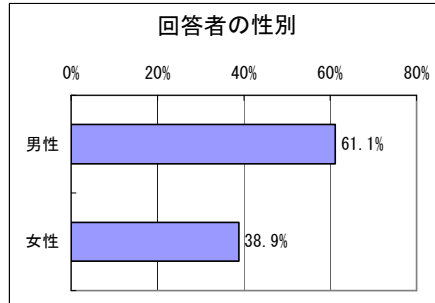
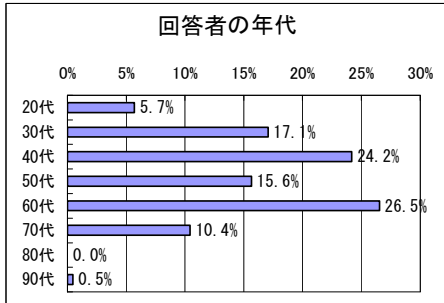
平成23年度「県民Webアンケート」

第1回 「節電対策と自然エネルギーの利用について」 集計表

○アンケート実施期間 2011/8/5~2011/8/11

○アンケート会員数 259人 回収数 211件 (回収率 81.5%)

○今夏、電力不足へ対策として工場等や事業所、家庭等での節電の取組みが広がっています。  
このアンケートでは、特に家庭における節電への意識や実施事例を伺うとともに、自然エネルギーの活用に対する意識を伺います。



設問	選択肢内容	回答件数	回答者数	割合	グラフ
1. 昨年まで、家庭でどのような節電・省エネ対策を実施していましたか。 (当てはまるものをいくつでも)	エアコンの適正冷房(28度)	104	211	49%	
	電化製品の待機電力のカット	83		39%	
	不要な照明の消灯	177		84%	
	すだれや緑のカーテンの利用によるエアコン使用の抑制	74		35%	
	省エネ効果の高い家電製品への買い換え	45		21%	
	していない	17		8%	
	その他	7		3%	
	合計	507		—	
2. 今夏の電力不足の懸念が高まっていますが、今年度、新たに取り組み始めた節電・省エネ対策はありますか。 (当てはまるものをいくつでも)	エアコンの適正冷房(28度)	101	211	48%	
	電化製品の待機電力のカット	87		41%	
	不要な照明の消灯	106		50%	
	すだれや緑のカーテンの利用によるエアコン使用の抑制	63		30%	
	省エネ効果の高い家電製品への買い換え	50		24%	
	していない	23		11%	
	その他	19		9%	
	合計	449		—	
3. 今夏の電力不足に対し、奈良県では「奈良県節電協議会」を設立し、県全体で10%超の節電目標を定めて節電の取組みを推進していることをご存じですか。	知っており、目標達成に向けて取り組んでいる	67	211	32%	
	知っているが、目標達成に向けて取り組んでいない	25		12%	
	知らないが、節電の取組みを行っている。	111		52%	
	知らないし、節電の取組みも行ってない。	8		4%	
	合計	211		100%	
4. 今夏の電力不足に対し節電対策が広がっていますが、各家庭で節電対策を実施することに対しどのように考えますか。	日常生活に多少の支障がでてでも実施すべき	30	211	14%	
	日常生活に支障ない範囲で積極的に実施すべき	136		64%	
	できる範囲で実施する程度でよい	44		21%	
	実施しても意味がない	1		1%	
	合計	211		100%	
5. 国や地方自治体が節電対策について広報・啓発していますが、どのような方法が実際の節電に効果があると考えますか。 (当てはまるものを2つまで)	テレビ・ラジオCM	131	211	62%	
	ポスターの掲示やパンフレットの配布	46		22%	
	街頭や店舗内での啓発活動	43		20%	
	インターネットでの啓発・広報	26		12%	
	小中学校での児童生徒に対する節電・省エネ教育	98		46%	
	その他	22		10%	
	合計	366		—	

設問	選択肢内容	回答 件数	回答者 数	割合	グラフ
6. 家庭向けの節電・省エネに関するセミナーや勉強会があれば参加しますか。	必ず参加する	8	211	4%	
	予定が空いていれば参加する	92		43%	
	わからない	61		29%	
	参加しない	50		24%	
	合計	211		100%	
7. 太陽光パネルなどの自然エネルギーを活用する機器を家庭で使用しておられますか。	使用している	21	211	10%	
	使用していない	190		90%	
	合計	211		100%	
8. Q7で「使用している」と回答された方にお聞きします。使用している設備名をお答え下さい。(当てはまるものをいくつでも)	太陽光発電設備（太陽光パネル）	11	21	5%	
	太陽熱利用設備（太陽熱温水器など）	4		2%	
	高効率給湯設備など（エネファーム、エコキュートなど）	13		6%	
	その他	0		0%	
	合計	28		—	
9. 太陽光パネルを普及するにあたり、どのような補助があれば推進できると考えますか。(当てはまるものを2つまで)	導入時の経費負担（1kwあたり5万円など）	157	211	74%	
	導入価格に応じたポイントの付与（エコポイントのような制度）	44		21%	
	設置にかかる低利（無利子）融資	44		21%	
	余剰電力の買取価格の値上げ	102		48%	
	その他	12		6%	
	合計	359		—	
10. 自然エネルギーを活用する機器を導入すれば節電・節約効果がありますが、導入経費との関係について伺います。	導入経費の元をとれなくても導入する	7	211	3%	
	10年以上かかって導入経費の元を取れるなら導入する	23		11%	
	10年以内に導入経費の元をとれるなら導入する	77		37%	
	5年以内に導入経費の元を取れるなら導入する	82		39%	
	導入しない	22		10%	
	合計	211		100%	